

IODP 研究推進に対する J-DESC の取組み

1) 2006年11月～2007年8月 会員提案型活動経費における活動報告

平成18年度下半期2件、平成19年度上半期1件を採択

<研究者向け活動>

(平成18年度下半期)

申請題目：第5回コア解析スクール(実践コース・アドバンスコース)

概要：主に大学院生以上の研究者を対象として、コア試料の基礎解析から応用解析までを系統的にレクチャーするとともに、非破壊計測実習、岩相記載実習および機器分析実習などを行う。

代表者：池原 実

(実践コース：3月10～13日/アドバンスコース：3月14～16日)

申請題目：「ちきゅう」掘削コア記載スキーム策定のためのワークショップ

概要：地球深部探査船「ちきゅう」の国際運航を次年度に控え、J-DESC 科学計測専門部会情報システム WG が中心となって作成している「ちきゅう」掘削コア記載スキームのガイドラインについて、国内の関係研究者とともに議論し作成するためのワークショップ開催。

代表者：坂本 竜彦 (2月2～4日)

(平成19年度上半期)

申請題目：IGCP-476 Final Symposium “Monsoon evolution and tectonics-climate linkage in Asia”

概要：アジアモンスーンの発達と、ヒマラヤ・チベットの隆起に代表されるテクトニクスとの相互作用や縁海海洋環境への影響に関する国際研究(IGCP-476 プロジェクト)のシンポジウムとワークショップを国内で開催する。

代表者：多田 隆治 (12月7～8日)

IODP 関連 Workshop への研究者支援

2007年8月にドイツ・ベルリンにおいて開催された「Micropaleontological Reference Center Meeting」に、研究者1名の旅費支援を実施。

2) 平成19年度科学研究費補助金の「時限付き細分科目」

平成19年度科学研究費補助金の「時限付き細分科目」において掘削科学に関連する「地球システム変動」が採択されている。来年度が時限の期限となっており、引き続き継続されるよう国内のIODP研究者を中心に努力を行っている。

3) 科学研究費補助金への申請

- 平成19年度科学研究費補助金（特定領域研究）として、「南海トラフ巨大地震発生帯の研究：超深度掘削・断層直接観測による地震準備過程の解明 [代表者：木村 学（東京大学）]」、「温室地球における生命と環境の共進化：酸化還元境界の変動と生物進化 [代表者：棚部一成（東京大学）]」及び「海底下の大河：地球規模の海洋地殻中の移流と生物地球化学作用 [代表者：浦辺徹郎（東京大学）]」を提案。今年度はいずれも採択にいたらなかった。
- 平成19年度科学研究費補助金（学術創成研究費）として、「統合国際深海掘削計画（IODP）研究の推進：国際的リーダーシップの確立 [代表者：巽 好幸（海洋研究開発機構）]」が採択された。4つのMissions（NanTroSEIZE, IBM, LIP/OAE, Mohole）を遂行する。